

## 「脳卒中」 第6期保健医療計画の行動計画

項目	対 策	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
<b>発 症 予 防</b>	(県、市町村) ・ 高血圧、喫煙対策 ・ 健診の受診率の向上 ・ 家庭での血圧測定と血圧値に関する正しい知識の啓発	別紙のとおり				
	(県、医師会) ・ 高血圧・糖尿病などを有する喫煙者と禁煙希望者を対象とした禁煙治療の推進 ・ 過度な飲酒を抑制する啓発 ・ 医療機関の血圧管理の推進					
<b>救 護</b>	(県) ・ 脳卒中の予防や初期症状に関する知識の普及と救急搬送の必要性の周知	(県)「発症予防」及び「救急医療」の啓発と併せて、テレビ・ラジオ等の啓発を実施する。				
	・ 救急隊員の脳卒中病院前救護研修の充実・支援	(県) 近森病院と医療センターが主体となって実施するが、連絡調整等において救急隊員が幅広く参加できる体制を支援する				

急性期	(県) ・医療従事者の確保	(県) (医師確保) 将来、県内で特定診療科(脳神経外科等)に勤務する医師を確保するため、奨学金を加算して貸付けるとともに、臨床研修医に奨励金を貸し付ける。			
	(急性期病院) ・患者の診断結果について救急隊員へのフィードバック	(急性期病院) MCカンファレンス等を活用して、積極的に救急隊員へフィードバックを行う。			
回復期	(県、関係団体) ・回復期リハ病棟を退院した後の患者のADL情報等について、在宅医療機関や介護保険施設等から回復期リハ病棟へフィードバックする仕組みづくりの検討	(県) フィードバックの仕組みづくりについて、H25.9までに具体的内容を検討しH26予算化を検討	(予算化の場合)事業の実施、検討会議において成果を評価	(継続等の検討)	
		(関係団体) 研修会・意見交換会を開催			
	(関係団体) ・回復期リハ病棟に関する研修会の拡充	(県) 全国研修会への参加経費等について、H25.9までにH26予算化を検討	(予算化の場合)研修の拡充	(継続等の検討)	
		(関係団体) 回復期リハ病棟連絡会を通して、研修会等を定期的で開催			
維持期	(県、医師会、関係団体) ・地域包括ケアシステムの構築に向け、訪問介護と医療・リハスタッフなどの連携体制を構築するため、症例検討会や合同研修会の開催 ・急性期から維持期に向けてシームレスなリハを行うことができるよう、リハの目標設定や効果を明確にする方法について検討を行い、関係機関へ周知する	(県、医師会、関係団体) 医療機関及び多職種の連携を図るため、合同研修会や勉強会などを開催する。			

<b>医療連携体制の構築</b>	<p>(県、医師会、関係団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関におけるパスの利用率の向上</li> <li>・パスが急性期からケアマネのケアプラン作成のために引き継がれる仕組みづくりの検討</li> </ul>	<p>(県、医師会、関係団体)</p> <p>維持期の取組とリンクさせて、医療機関及び多職種の図るため、合同研修会や勉強会などを開催する。</p>			
	<p>(県、関係団体) 地域リハ連絡票の活用の検討など、急性期から在宅医療まで患者情報の共有ができる仕組みの構築</p>				
	<p>(歯科医師会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師の嚥下障害の診査や診断能力の向上を図る研修の実施</li> <li>・歯科医師と急性期・回復期・維持期治療を行う医療従事者などとの合同研修会の開催</li> <li>・在宅歯科連携室の役割の周知</li> </ul>	<p>(歯科医師会)</p> <p>歯科医師の診断能力向上研修を実施する。</p>			
		<p>(歯科医師会)</p> <p>訪問歯科診療の実施について、積極的に周知を図る。</p>			
	<p>(県) 脳卒中データバンクの継続、データの有効な活用</p>	<p>(検討会議) 分析チームを立ち上げ、分析の手法等について検討していく。</p>			